

COPD

ハンドブック

病気について 理解しよう



監修

西村 正治 先生

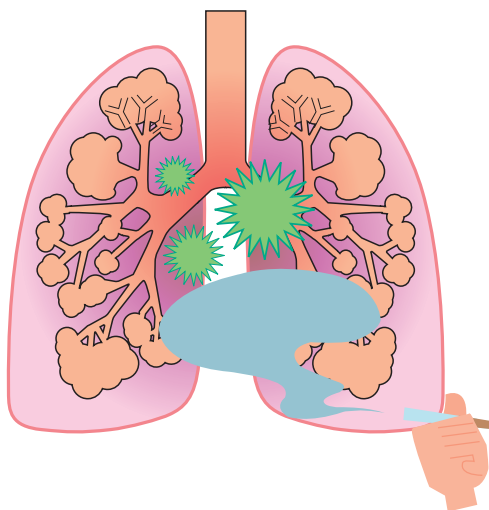
豊水総合メディカルクリニック/
北海道呼吸器疾患研究所
北海道大学
名誉教授

肺の生活習慣病“COPD”

～喫煙の害について～

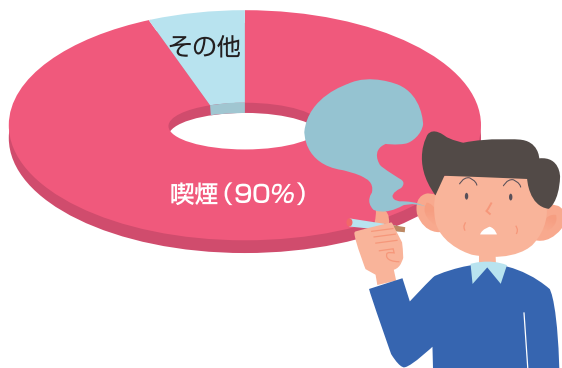
▶ COPDとはどんな病気？

COPDとは、タバコなどの有害な空気を吸い込むことによって、空気の通り道である気道（気管支）や、酸素の交換を行う肺（肺胞）などに障害が生じる病気です。その結果、空気の出し入れがうまくいかなることによって、通常の呼吸ができなくなり、息切れが起こります。長期間にわたる喫煙習慣が主な原因であることから、COPDは肺の生活習慣病とされています。



▶ 喫煙がCOPDの引き金になります

COPDは別名タバコ病と言われるように、ヘビースモーカーに多い病気で、患者の90%以上は喫煙者です。また、受動喫煙によっても起こります。さらに喫煙以外の原因として、大気汚染や職業的な塵埃や化学物質も刺激になります。

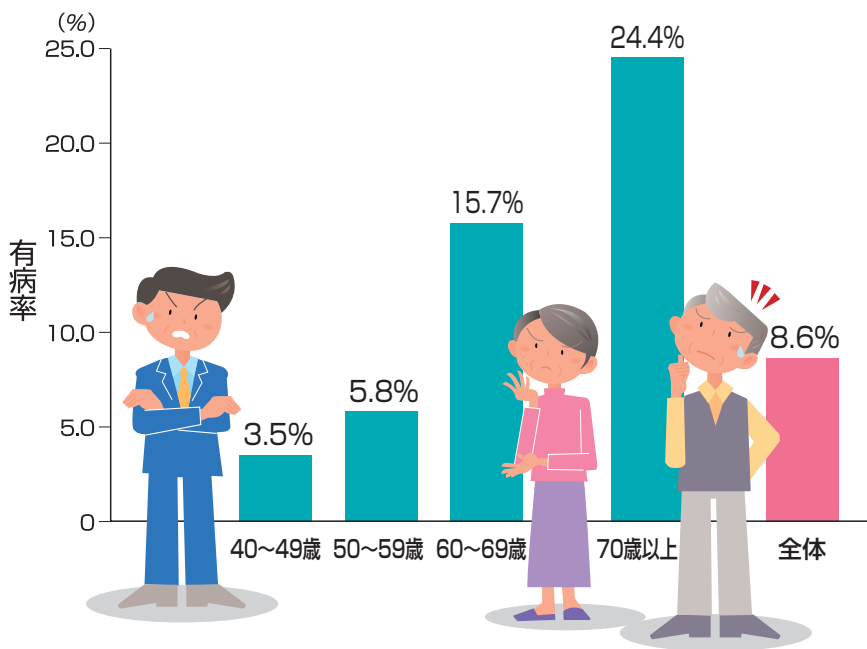


出典：Snider GL：Annu Rev Med 40：411-429,1989

▶ 40歳以上の日本人の8.6%はCOPD

2000年に国内で行われた調査では、40歳以上の男女のうち8.6%の人がCOPDの疑いがあることがわかりました。年齢的にみると、70歳以上の高齢者が最も多いことがわかりました。社会の高齢化に伴い、現在ではもっと有病率*が増加していることが推察されます。

※有病率…疾患にかかっている人を有病者といい、有病率とは、特定の集団内における全人数に対する有病者の割合のこと。



グラフの出典：Fukuchi,Y.et al. : Respirology 9 : 458, 2004より作図

こんな症状はありませんか？

COPDは症状に気づかず、発見が遅れがちな病気です。下記のような症状があったときには、早目に病院を受診しましょう。

▶ 代表的な症状は“息切れ”です

特に体を動かしたとき、例えば階段の昇降時や坂道をのぼるときに気づきます。



▶ その他の症状は

- 長く続く咳と痰
- かぜをひいたとき、あるいは運動をしたときに呼吸がヒューヒュー、ゼーゼーする

▶ 病気が進むと以下のような症状が出ることがあります

- 口すぼめ呼吸（体を動かして息切れを感じたときに、意識的に口をすぼめる呼吸）
- ビア樽状の胸部（胸の前後の幅が増大し、上体が樽のような形状となる）

診断に欠かせない肺機能検査

肺機能検査とは、スパイロメーターを用いるもので、COPDの診断に欠かせないものです。

この検査は、最大限に吸えるだけの息を吸い、それを思いきり強く吐き出した空気sの最大量（肺活量）と、最初の1秒間に吐き出される空気sの量（1秒量）を測定し、これら2つの測定値の比（1秒率）を出すものです。

この比は、COPDを発見する指標となります。

息切れなどの自覚症状が現れた場合は、早いうちに病院を受診し肺機能検査を行うことが重要です。

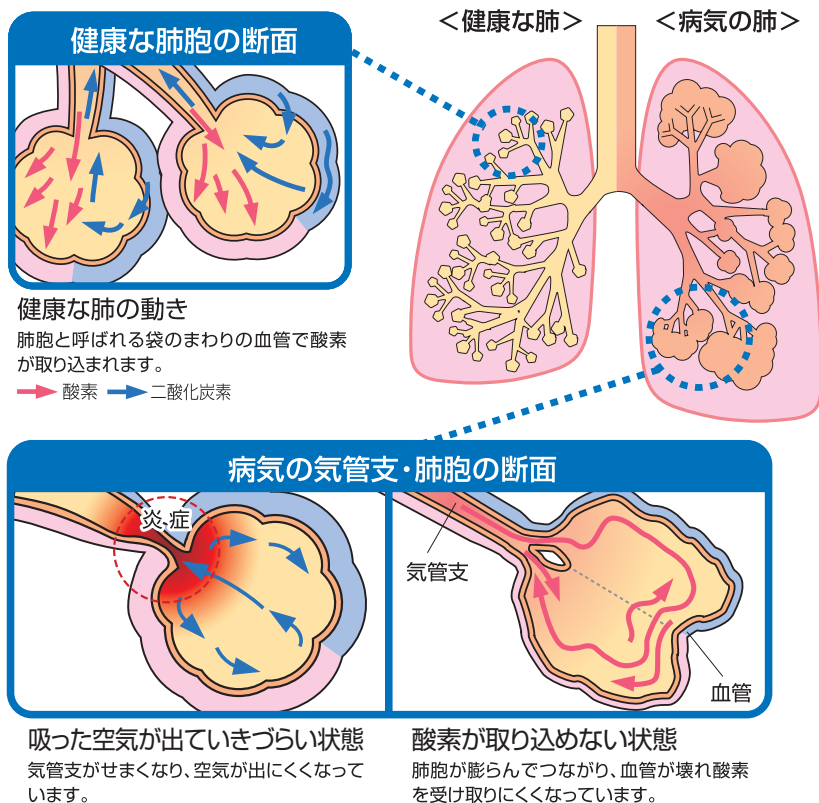


COPDの気管支と肺胞の状態

COPDの気管支・肺胞はどのような状態なのでしょう。下のイラストでよく理解しましょう。

▶ COPDの病態

COPDは、空気の通り道である気道が炎症をおこし、酸素を取り込む肺胞の壁がこわれていく病気です。その結果、空気の出し入れがしにくくなり、息切れの原因となります。



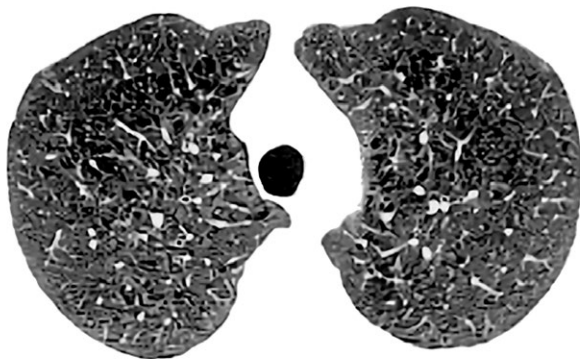
あなたの肺はこうなっている

COPDの肺をCTでのぞいてみましょう。

 胸部CT検査でCOPDの早期発見を!

高分解能CT(HRCT)により、COPD(気腫の強いタイプ)の早期発見が可能です。重症になるに従って、黒っぽい部分(肺胞壁が壊れた部分)が増えていきます。

軽症*の
COPDの肺



重症*の
COPDの肺



*肺気腫の程度から見た重症度
(写真提供：北海道大学病院第1内科)

肺の病気COPD(慢性閉塞性肺疾患)「COPD-jp.com」
の総合情報サイト

<https://www.copd-jp.com>

検索

提供：

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

